

**岡山県 本社移転に関する動向調査（2024年）**

# 2024年、4社の転入超過

転入超過は2年ぶり、直近10年間では3社の転入超過

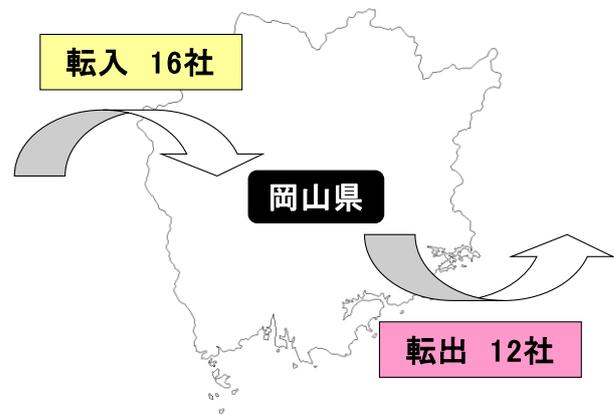
## はじめに

今年1月、内閣府が「地方創生2.0」において、国内の人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていくため、一極集中政策の見直し、地域の経済・社会を支える人材の力を最大限に引き出す政策の強化などを基本的な考え方として示した。地方では本社機能の移転に伴う助成制度の充実を図るなど、企業誘致の促進に注力するなか、2024年における企業の本社機能の移転状況はどうだったのだろうか。

帝国データバンク岡山支店では自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」（148万社収録）をもとに、2024年および2015年～2024年の10年間で本店所在地の「岡山県への転入が判明した企業」や「岡山県からの転出が判明した企業」を抽出し、移転年別、業種別、年商規模別、転入企業の移転元、転出企業の移転先などの分析を行った。

※本社とは、実質的な本社機能のある事業所を指し、商業登記上の本店所在地と異なるケースがある

### ■岡山県の転入・転出社数（2024年）



## 調査結果（要旨）

- 2024年に岡山県への転入企業16社、岡山県からの転出企業12社、4社の転入超過に
  - ・岡山県へ転入した企業の移転元、『兵庫県』（4社・構成比25.0%）がトップ
  - ・岡山県から転出した企業の移転先、『大阪府』（4社・構成比33.3%）がトップ
  - ・業種別、転入は『サービス業』が最多、転出は『製造業』『サービス業』が最も多く
  - ・年商規模別、転入は『1億円～10億円未満』が最多、転出は『1億円未満』が最も多く
- 2015年～2024年の10年間で3社の転入超過
  - ・「岡山県へ転入した企業」は141社、「岡山県から転出した企業」は138社
  - ・移転年別、「岡山県へ転入した企業」では2021年の20社が最多。2015年の7社が最少。「岡山県から転出した企業」では2016年の21社が最多。2015年、2017年、2023年の各11社が最少

## 1. 2024年は転入16社、転出12社

### ○転入企業の移転元・転出企業の移転先（都道府県）

2024年に県外から岡山県へ転入した企業は16社あった。移転元を都道府県別で見ると、『兵庫県』が4社（構成比25.0%）で最も多かった。次いで、『東京都』『広島県』が各3社（18.8%）、『鳥取県』が2社（12.5%）、『埼玉県』『神奈川県』『大阪府』『香川県』が各1社（6.3%）で続いた。

一方、2024年に岡山県から県外へ転出した企業は12社あった。移転先を都道府県別で見ると、『大阪府』が4社（構成比33.3%）で最も多く、次いで、『東京都』が2社（16.7%）、『宮城県』『兵庫県』『鳥取県』『広島県』『福岡県』『鹿児島県』が各1社（8.3%）で続いた。

### ○業種別

転入企業16社について、業種別で見ると、『サービス業』が6社（構成比37.5%）で最も多かった。次いで、『製造業』が3社（18.8%）、『卸売業』『小売業』が各2社（12.5%）、『建設業』『運輸・通信業』『不動産業』が各1社（6.3%）で続いた。なお、『その他』はなかった。

一方、転出企業12社についてみると、『製造業』『サービス業』が各3社（構成比25.0%）で最も多く、次いで、『卸売業』『不動産業』が各2社（16.7%）、『建設業』『小売業』が各1社（8.3%）で続いた。なお、『運輸・通信業』『その他』はなかった。

### ○年商規模別

転入企業16社について、年商規模別で見ると、『1億円～10億円未満』が8社（構成比50.0%）で最も多かった。次いで、『1億円未満』が6社（37.5%）、『10億円～100億円未満』『100億円以上』が各1社（6.3%）で続いた。

一方、転出企業12社についてみると、『1億円未満』が6社（構成比50.0%）で最も多く、次いで、『10億円～100億円未満』が3社（25.0%）、『1億円～10億円未満』が2社（16.7%）、『100億円以上』が1社（8.3%）で続いた。

#### ■岡山県へ転入した企業の移転元

	都道府県	社数	構成比
1	兵庫県	4	25.0%
2	東京都	3	18.8%
	広島県	3	18.8%
4	鳥取県	2	12.5%
5	埼玉県	1	6.3%
	神奈川県	1	6.3%
	大阪府	1	6.3%
	香川県	1	6.3%
	合計	16	100.0%

#### ■岡山県から転出した企業の移転先

	都道府県	社数	構成比
1	大阪府	4	33.3%
2	東京都	2	16.7%
3	宮城県	1	8.3%
	兵庫県	1	8.3%
	鳥取県	1	8.3%
	広島県	1	8.3%
	福岡県	1	8.3%
	鹿児島県	1	8.3%
	合計	12	100.0%

#### ■転入企業（業種別）

	業種	社数	構成比
	建設業	1	6.3%
	製造業	3	18.8%
	卸売業	2	12.5%
	小売業	2	12.5%
	運輸・通信業	1	6.3%
	サービス業	6	37.5%
	不動産業	1	6.3%
	その他	0	0.0%
	合計	16	100.0%

#### ■転出企業（業種別）

	業種	社数	構成比
	建設業	1	8.3%
	製造業	3	25.0%
	卸売業	2	16.7%
	小売業	1	8.3%
	運輸・通信業	0	0.0%
	サービス業	3	25.0%
	不動産業	2	16.7%
	その他	0	0.0%
	合計	12	100.0%

#### ■転入企業（年商規模別）

	年商規模	社数	構成比
	1億円未満	6	37.5%
	1億円～10億円未満	8	50.0%
	10億円～100億円未満	1	6.3%
	100億円以上	1	6.3%
	合計	16	100.0%

#### ■転出企業（年商規模別）

	年商規模	社数	構成比
	1億円未満	6	50.0%
	1億円～10億円未満	2	16.7%
	10億円～100億円未満	3	25.0%
	100億円以上	1	8.3%
	合計	12	100.0%

※「1億円未満」には未詳分を含む

## 2. 2015年～2024年の10年間、3社の転入超過（転入141社・転出138社）

### ○県外から岡山県へ転入した企業数

2015年～2024年の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業は141社だった。年別で見ると、岡山県に転入した企業が最も多かったのは、2021年の20社。一方、最も少なかったのは2015年の7社だった。

### ○岡山県から県外へ転出した企業数

2015年～2024年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業は138社だった。年別で見ると、岡山県から転出した企業が最も多かったのは、2016年の21社。一方、最も少なかったのは2015年、2017年、2023年の各11社だった。

### ○転入・転出の比較

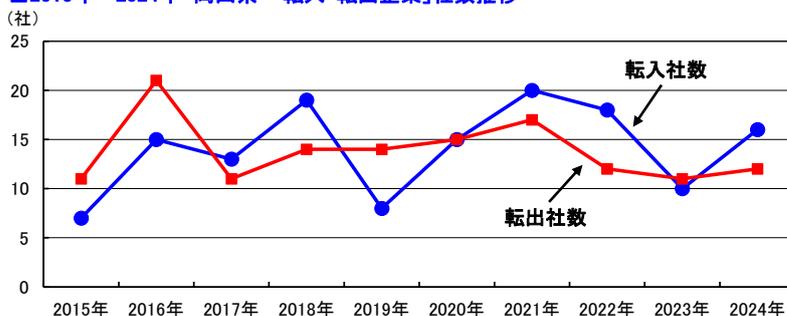
2015年～2024年の10年間をみると、転入した企業が141社、転出した企業が138社で、3社の「転入超過」となった。2024年は2年ぶりの転入超過となった。

なお、2017年、2018年、2021年、2022年、2024年の5年間で転入超過となった。

■転入・転出社数の年別推移

判明年	転入社数	転出社数	転入－転出
2015年	7	11	▲4
2016年	15	21	▲6
2017年	13	11	2
2018年	19	14	5
2019年	8	14	▲6
2020年	15	15	0
2021年	20	17	3
2022年	18	12	6
2023年	10	11	▲1
2024年	16	12	4
合計	141	138	3

■2015年～2024年 岡山県「転入・転出企業」社数推移



## まとめ

2024年において岡山県では転入企業が16社だったのに対し、転出企業は12社となり、4社の転入超過となった。2015年～2024年の10年間でみても、転入が転出を上回る年が多く、3社の転入超過となった。

都市部への移転は大きな市場でのビジネスチャンスを取り込んで業績を拡大する狙いがある。一方で、BCP（事業継続計画）対策による拠点の分散化、従業員のワーク・ライフ・バランス重視といった地方ならではのメリットもあり、税制面の優遇や助成金の支援、工業団地の整備など受け入れ態勢の強化を図るなか、地方移転に関するマッチングが進み、新たな雇用の場の創出につながることを期待される。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：越久田おくだ  
 TEL：086-224-4681 FAX：086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。